

# 慶應 × 同志社

## 主将对談

慶應義塾大学

藤木健人(4)



同志社大学

三好世真(4)

### —自己紹介

**藤木**：慶應義塾大学競走部主将の藤木健人と申します。生まれも育ちもずっと東京です。高校の先輩に慶大競走部の方がいらっしゃって、自分もそこで活躍したいと思い、慶大競走部に入りました。専門は100mで、サブで200mをやっています。

**三好**：同志社大学陸上競技部主将の三好世真です。逆に生まれも育ちも大阪で中学校から10年間陸上をやっています。今専門種目は競歩です。大学対大学の対校戦ではなかなか種目がないので、応援に回る人が多いですが、主将という経験をいかして慶同戦でも応援という立場で活躍できたらと思っています。



同志社大学主将 三好世真(4)

### —主将として日ごろ心がけていること

**藤木**：主将は周りに対して言っていくことが多い立場ですが、言っていくのと同時に、行動を先に示すということを大事にしています。

また、後輩と話す中で考えさせる機会を作るようにしています。陸上のパフォーマンスを上げるだけでなく、チームを俯瞰してみる力をつけるためにも、考えることは必要なことだと思っています。

**三好**：主将になったとたん、グラウンド内外で主将という肩書を背負って自分の姿勢が後輩に見られるようになります。普段の練習に誰よりも真面目に取り組む、グラウンド外でも勉強や私生活も意識するなど、後輩に言葉ではなく行動で示していけるような主将であることを心がけています。OBや保護者の方にも「自分の代」として見られるので、試合の結果にもこだわっています。普段の生活と競技両方において誇りを持てるような行動をとるようにしています。

## 「REBOOST」×「陸の王者、再興」

### —両校のチームスローガンについて

**三好**：同志社の陸上部のスローガンは

「REBOOST」です。再加速する、再出発するという意味です。コロナ禍で思うような活動ができず、以前の活動と遠ざかっていました。そんな中で再加速していこうという意味が込められています。

**藤木**：慶大競走部のスローガンは「陸の王者、再興」です。慶應には強い選手もいますが、チームとしての強さが足りていません。そんな中で、関東インカレなどで戦っていけるチームを目指そうという意味を込めてこの言葉を掲げています。

そのために、「自分ごと化」、「目的意識」、「信頼関係」の三つを大事にしています。

## 「シンプルに勝つ」

### 「男女ともに勝利」

#### ―慶同戦のチーム目標

**三好**：やっぱりシンプルに勝つことです。昨年の慶同戦では、最後の種目の4×200mRが終わるまで、勝負が決まりませんでした。競技をしている以上、勝負に勝ち切ることはこだわりたいと思っています。そのうえで、個人個人の目標を達成することで、勝利に近づけると思っています。慶應は関東インカレなどレベルの高い中で経験を積んでいると思うので、そこにどれだけ立ち向かえるかが課題になってくると思っています。ただ、全力で勝ちを目指していきます。

**藤木**：「男女ともに勝利」です。それが第1目標ではありますが、9月の全日本インカレに出る人たちに何か1つつかんでほしい、試合を経て成長してほしいという思いもあります。また、対校戦はチームとして戦う色が強いと感じています。選手だけでなく補助員や応援する人も一体となり、チームとして戦うことが勝利につながり、部員の信頼関係につながり、それが今後この対校戦が続いていくうえでも大事になると思っています。

#### ―慶同戦の注目選手

**三好**：男子は1500mに出場する3選手です。その中でしぼるなら小田裕次郎(4)です。2年秋に入部し、大学から陸上を始めた選手ですが、しっかりと練習を重ね、先日の記録会では全日本インカレB標準を切りました。彼の伸びの幅は嬉しく、このまま慶同戦を戦ってほしいと思います。他の2選手も全日本インカレB標準を切っているので、表彰台独占に期待しています。

女子は100mに出場する柳澤祐衣(4)と女子主将で400mに出場する黄瀬蒼(4)です。柳澤は短距離女子を1回生の時から引っ張ってきてくれていて、今回の慶同戦にかける思いもあると思います。

黄瀬は今シーズン自己ベストを出し続けています。4回生のコンビに期待してほしいと思います。

**藤木**：男子は、今回400m、110mHに出場する豊田兼(2)です。今年に入ってから自己ベストを高いレベルで更新し続けていて、7月に400m46秒6というタイムをたたき出しました。底が知れないと感じます。また、彼とは幼稚園からずっと同じ学校を進んでいるので、彼に懸ける思いはほかの人とは全く違うものだと思います。彼の成長は自分の活躍以上に嬉しく、彼の活躍に期待しています。

女子は、岩屋佑未奈(3)です。七種競技をやっている選手で、今回100m、100mH、やり投、4×100mRに出場予定です。関東インカレ、怪我を経て、悔しい思いをしてきて、復帰戦として出場する慶同戦にかける思いは人一倍だと思います。全日本インカレ出場を目指す思いをひしひしと感じるので、思いをぶつけて戦ってきてほしいと思います。

#### ―最後に一言

**藤木**：この対談を経て、同志社大学の慶同戦に懸ける思いを知りました。対校戦はただ記録を争うだけでなく、互いの思いがぶつかる場だと思いました。他の選手にもそれを感じてもらえるようチームに対して還元していきます。頑張りたいと思います！

**三好**：コロナ禍できつい中、部員1人1人が練習をしっかりとやってきている印象があるので、今回の慶同戦も自信をもって挑んでほしいと思います。藤木さんからもあったように、ただ戦うだけではなく相手のバックグラウンドを知ったことで感じる部分もありました。伝統ある大会なので伝統を受け継ぎつつ僕たちなりに盛り上げ、実りのある大会にできればと思います。



慶應義塾大学主将 藤木健人(4)